

2020年度 全学共通科目

■教育研究上の目的	本学の教育理念の基盤であるキリスト教精神にもとづき、専門的な学びの基盤となる広い知識と教養を身につけるとともに、それらを自らの生きることの意義に結びつけ、他者に共感、奉仕していくことのできる人格を育成する。
------------------	---

■ディプロマポリシー

【知識・技能】	建学の精神であるキリスト教の人間理解をふまえ、人文・社会・自然科学にわたる基本的な知識と言語的能力を身につけている。
【思考力・判断力・表現力】	さまざまな分野の学問をバランスよく学ぶことで、客観的で論理的な思考力を身につけている。また、学びを通じて獲得した知識を、現実の社会の多様な課題との関連において意義付け、実践に結びつけていく倫理的な判断力を備えているとともに、他者への的確な理解と配慮に立った表現力・コミュニケーション能力を獲得している。
【関心・意欲・態度】	自らを取り巻く世界に知的な眼差しを向けるとともに、人間とその内面的価値についての深い関心を有している。学びを通じて獲得した知識や技能を、平和でよりよい社会の実現のために活かす意欲を持ち、人間の尊厳と多様性に配慮しつつ、他者に寄り添っていくことのできる共感的な態度を身につけている。

■カリキュラムポリシー

【知識・技能】	キリスト教精神に基づくリベラルアーツ教育を実現するため、全学共通科目には6つの科目区分を設けている。「キリスト教科目」は「人間論」(初年次必修)と「キリスト教学」(選択必修)によって構成され、聖書に基づく人間観やキリスト教の思想・文化を学ぶ。「教養科目」においては哲学・倫理学・文学・歴史学などの人文科学、社会学・日本国憲法などの社会科学、数学・物理学・化学・生物学などの自然科学を通じて幅広い教養を身につける。「外国語科目」においては、必修の英語を中心にフランス語・ドイツ語・中国語などを学び、「聴く・話す・読む・書く」の四技能を養う。「健康科目」では心と体の両面における健康についての知識と理解を深めるとともに、実技を通じて運動能力や体力を養う。「情報科目」では情報化社会において必要とされるスキルおよび、モラルやセキュリティについて学ぶ。「自立力育成科目」では国際的な視野から政治・経済・法律などの社会科学的教養を身につけるとともに、アクティブラーニングを通じて実践的な対話力を養い、キャリア形成に必要な知識と技能を育む。A群では社会現象を読み取る力を講義形式で学び、B群では日本語表現、ボランティア実践、ゼミ授業などのアクティブラーニング科目を通じ、自ら考え、判断し、責任を担っていく自立力を育成し、豊かなキャリア教育としてのリベラルアーツ教育を提供する。
【思考力・判断力・表現力】	諸科学の方法論への理解を通じて、分析的な思考力と総合的な判断力を身につける。またキリスト教精神への理解に基づいて、倫理的な判断力を深く養う科目を配置する。さらに、他者への的確な理解と配慮に立った表現力・コミュニケーション能力を育てるために、アクティブラーニング科目や少人数のゼミ授業を配置する。
【関心・意欲・態度】	人間とその内面的価値への関心を養う科目とともに、自らを取り巻く社会への関心を深める科目、実習を通じて社会貢献について学び、他者への共感的態度を身につける科目を配置する。これらを通じて、自らのキャリア形成への関心と意欲を高める。